

小6 総合 下小っ子議会提言

2月26日、総合的な学習の時間で進めてきた「下川を住みやすくし隊」での学びを、議会で町長、議長、教育長をはじめ、これまでお世話になった地域の方々に向け発表・提言を行いました。6グループに分かれ、下川にこんな取り組みがあったらいいな、というアイデアを様々な分野から発表。町長からは「提案はこれで終わりではなく、中学校に行っても継続的に今日の提案内容に関わり、アクションを起こしてほしい」とよびかけがありました。



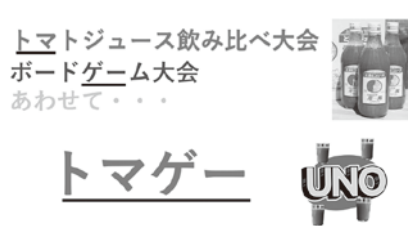
「トマトソフトクリーム」

下川のトマトと牛乳を使ったソフトクリームの商品開発アイデア。地産地消、下川特産のPRを目的に、トッピングにしもりんのクッキーやドライトマトもあしらいました。



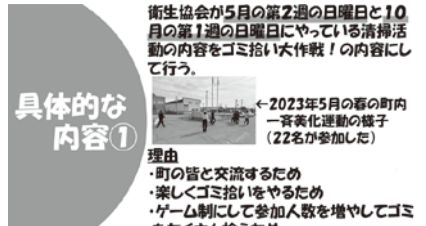
「トマゲー」

トマトジュースの美味しさを知ってもらい、年齢関係なくボードゲームで交流する「トマゲー」を企画。実際に小学校で実施した様子も報告し、場の工夫も報告しました。



「ゴミ拾い大会大作戦!」

ゴミがなくなると気持ち良くなり、皆が交流できることから、ゴミ拾い大会を企画。5、10月の一斉美化運動にゲーム制を取り入れ、ゴミにポイントをつけて、景品など工夫します。



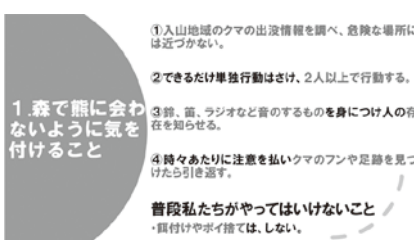
「自転車で、下川旅」

町内を3キロゆつくりと自転車で行く、子どもも高齢者も参加できるイベントを企画。スタンプラリー、小中学生が案内役の食べ物巡りなど、運動の機会を増やし楽しめます。



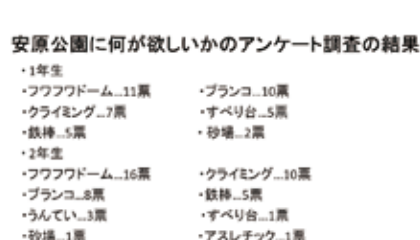
「もしも森でクマに遭ったときの対処法講習会」

もしも森で熊に会っても、正しい対処法がとれるよう、対処法の講習会の企画と、講習会に来られない人のための説明パンフレットを実際に作り、提案をしました。



「安原公園のリニューアル」

フレペに人がたくさんで遊べなかったり、遊具が空いていなかったりすることもあることから、1～6年生に安原公園にほしいものにアンケートを取り、リニューアルを提案しました。



<これまでお世話になった方々（敬称略）>

美花夢 押田鏡子、下川町衛生協会 小原義広、森の生活 長尾 綾、アテネファーム 中田麻子、中田豪之介、あそべや 奈須憲一郎、しもかわ観光協会 高松峰成、地蔵サイクル 田中康之、小林鈴枝、山形真理子、杉田鈴子、齋藤千香子、奥崎裕子、山下節子、下川町役場 産業振興課 高野英昭、高橋風宇太、澁谷麻斗、森俊輔、建設水道課 豊島琢磨、西本直樹、下川町教育委員会 伊藤克彦

共育にゆーす



2/12～14 しもかわ地域共育ツアーを実施しました

道内、道外から4名の人が参加し、下川地域共育ツアーを初開催しました。初日は地域共育フォーラムに参加し下川町の取り組みについて知り、翌日は、小学校の見学、中学校のキャリア教育授業の参観、職場体験やクラブ活動を受け入れてくださっている地域の方々に訪問するなどたくさんの共育の現場を体験しました。最終日には、森林環境教育の取り組みについてお話を伺い、それぞれの地域に持ち帰りたいことについて話し合いました。参加者からは、「生徒同士の会話に優しい印象を受けました」「下川の一人一人が主役のまちづくりを肌で感じました」などの感想がありました。



左) 中学校でキャリア教育授業を参観の様子



中) 職場体験の受け入れをしてくださったゆきみち書房さんを訪問



右) 最後の振り返りで自分の地域に持ち帰りたいことをシェア

2/25～3/2 大学生インターンシップ生が小中高校生と交流

北海道大学、北海道教育大学旭川校からの3名の大学生が来町し、春季インターンシップを行いました。小学校6年生の議会発表を見学したり、中学校1年生のキャリア教育授業で発表、交流したり、放課後に10代の居場所づくりに向けた、アイデアや好きなことを語り合うなどのイベントを行ったりしました。また、下川商業高校では、放課後にセンパイ進路トークを企画し、進路決定に悩む生徒とおしゃべりをするなど、様々な年代の子どもたちと交流を持ちました。下川の共育に関わる大人との出会いもあり、地域ぐるみで子どもたちの学びを支えている様子にも触れました。



左) 中学生の居場所を中学校図書室で開催。たくさんの意見を楽しく出し合いました。



中) インターンシップを実施した3人の大学生



右) 中学1年生の総合、キャリア教育で自分の経験を話す大学生。

■お問い合わせ 教育委員会
☎4-2511内線517 ☆4-251111